

第三者評価結果入力シート（児童養護施設）

種別	児童養護施設
----	--------

①第三者評価機関名

--

②評価調査者研修修了番号

SK18249

養第29-3号

--

--

--

--

③施設名等

名称：	児童養護施設くすのき
-----	------------

施設長氏名：	佐竹英己
--------	------

定員：	18名
-----	-----

所在地(都道府県)：	和歌山県
------------	------

所在地(市町村以下)：	田辺市向山395-1
-------------	------------

TEL：	0739-62-8600
------	--------------

URL：	
------	--

【施設の概要】	
---------	--

開設年月日	2010/6/1
-------	----------

経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人真寿会
------------------	-----------

職員数 常勤職員：	14名
-----------	-----

職員数 非常勤職員：	6名
------------	----

有資格職員の名称（ア）	保育士
-------------	-----

上記有資格職員の人数：	5名
-------------	----

有資格職員の名称（イ）	児童指導員
-------------	-------

上記有資格職員の人数：	7名
-------------	----

有資格職員の名称（ウ）	調理師
-------------	-----

上記有資格職員の人数：	1名
-------------	----

有資格職員の名称（エ）	
-------------	--

上記有資格職員の人数：	名
-------------	---

有資格職員の名称（オ）	
-------------	--

上記有資格職員の人数：	名
-------------	---

有資格職員の名称（カ）	
-------------	--

上記有資格職員の人数：	名
-------------	---

施設設備の概要（ア）居室数：	児童居室 18室 18名
----------------	--------------

施設設備の概要（イ）設備等：	ショートステイ室、全室個室
----------------	---------------

施設設備の概要（ウ）：	
-------------	--

施設設備の概要（エ）：	
-------------	--

④理念・基本方針

【理念】大地に太く根を伸ばし 天に向かって大きな幹に 嵐に負けぬ 人を慈しむ 大きなくすのきに育て

【基本方針】 子どもの育ちの拠点として、豊かな心を持ち、たくましく生きる 力を育む調和のとれた養育施設を目指す。

⑤施設の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ・法人内に医療機関が設置されており、子ども達の健康管理等や医療的リスク管理に対し手厚いサポート体制が組まれている。 ・施設内においておやつ券等を発行し、子ども達が楽しみながらお金の使い方等を学んでもらう工夫を行っている。 ・小学校を卒業する子どもには、卒業旅行として、職員とともに施設外へ旅行に出かけ、子ども達の持つ好奇心や見聞を広めるよう努めている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2020/7/4
-------------------	----------

評価実施期間（イ）評価結果確定日	2021/4/23
------------------	-----------

前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度
-------------------	--------

⑦総評

<p>◇特に評価が高い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な事情を抱えて入所した子どもたちに対し、職員は子どもたちの事を第一に考え、寸暇を惜しんで対応されている。 ・子どもたちが何を考え、何を求めているかを注視し、会話や意見箱等から子どもたちの想いを汲み取ることに努めている。 ・施設は木造バリアフリーにて陽光を多く取り入れる工夫がなされ、温かな雰囲気に満ちている。また、職員及び子ども達によって、非常に清潔に保たれている。 <p>◇改善が求められる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設における人材不足を補うため、施設の魅力や仕事のやりがい等を積極的に外部に発信し、人材確保に取り組まれることを期待する。 ・事業は実施できているにも関わらず、各種マニュアルの整備や見直しが進んでいない状況が見受けられる。今後は、未整備なもの（権利擁護マニュアル）を含め、早急な整備が望まれる。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

<p>本園「くすのき」の開設から10年目を迎えた昨年度、新たに分園「なかはや」を開所し、分園「明日の樹」を含め3園体制となった。職員は、日々子ども達との関わりの中で試行錯誤しながらも、常に支持的・受容的な関わりを基本とし、「組織力での養育」に取り組んできた。</p> <p>今回も多角的な視点から評価を受ける中で、事業は実施しているものの、マニュアル整備や、事業実施後の見直し作業が行われていないとの指摘を受けた。主だって、事業計画の周知、事務・経理に於ける透明性の高い経営・運営、子どもの権利擁護に関する事等に課題がある事が判った。</p> <p>今後、指摘箇所に対しての内容を、職員全体で共有し、職員ひとり一人が携わる各部会等で協議・検討を重ね、早急なマニュアル整備の着手に努める。職員がマニュアルを定着させながら養育に取り組む。</p> <p>この第三者評価を見直しの良い機会と捉え、今後も「子ども達の最善の利益の享受」となる様、職員一丸となり「組織力での養育」を実践していく。</p>

⑨第三者評価結果（別紙）

（別紙）

自己評価結果表【タイプA】（児童養護施設）

共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
<p>① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>

【コメント】

理念、基本方針は、パンフレット内に記載され、法人、施設の方向性を読み取ることができる。理念や基本方針は毎年年度初めに職員会議で職員に周知され、職員は理念や基本方針をもとに自身で目標を立てているが、わかりやすく説明した資料がなく、子供や保護者に対しても口頭で説明するだけになってしまっている。

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	○
【コメント】 社会福祉事業全体の動向を把握したり、福祉計画の策定動向を把握し分析するために、田辺市の子育て推進課や和歌山県青少年センターなどと意見交換を行い情報を共有している。施設の入所を必要とする子供の数や利用率等の分析を行っているが、利用率が低い。入所児童の増加に向けて児童相談所に出向いては相談しているが、立地条件上の不便さもあり、入所児童の増加には結びついていないが、前向きな取り組みが行われている。		
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
	<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○
【コメント】 経営課題を役員間で共有しているとともに、職員にも周知している。入所児童が少なく経営状況が安定しない、余力の職員が確保できていないなどの課題解決に向けて、施設長自ら児童相談所に出向いて相談したり、職員募集にあたり資格要件を外し施設内で育てる等、経営課題解決に向けての取り組みが行われている。		

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	
【コメント】 中・長期的なビジョンを明確にした計画が作成され、経営課題や問題点の解決に向けた具体的な内容になっている。またそれに向けた実施状況の評価も行える内容となっているが、必要に応じての評価・見直しが行えていない。法人の役員会などで見直しが行われている場合があれば、それを施設内でも周知していくことが望ましい。		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○

	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○
【コメント】		
<p>単年度計画は、中・長期計画を反映された具体的な計画となっている。各委員会で作成されて会議で検討された計画は具体的な数値目標が設定され、実施可能な事業計画となっている。</p>		
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	<p>① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</p> <input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。 <input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。 <input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。 <input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。 <input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【コメント】		
<p>各委員会で作成された事業計画は職員会議で承認を得て実施されている。事業計画策定期間や、実施状況、評価時期、手順等がマニュアルに定められ、計画の見直しも行われている。事業計画は会議や研修会で説明もされ職員が計画に基づいて、自分たちで自主的に取り組む仕組みが確立されている。</p>		
	<p>② 7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。</p> <input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。 <input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。 <input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	<p>c</p> <p></p> <p></p> <p></p> <p></p>
【コメント】		
<p>事業計画は、子供にはその都度口頭で説明をしているが、わかりやすく工夫された資料が見受けられなかった。また保護者についても、説明が行われていなかった。今後、わかりやすく工夫された資料や説明文などを掲示したり、配布する等子供や保護者の参加を促すような、説明の工夫が行われることを期待する。</p>		
4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組		
	<p>(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。</p> <p>① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。</p> <input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。 <input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。 <input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。 <input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	<p>第三者 評価結果</p> <p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【コメント】		
<p>第三者評価は定期的に受審し、職員は教育支援の質の向上に向け、1年に1回自己評価を行っている。その評価結果は、職員会議で検討され評価結果報告書としてまとめられている。</p>		

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	

【コメント】

評価結果は、報告書にまとめられていると共に、職員間での共有が図られ、改善策を策定する仕組みは作られているが、改善の取り組みが不十分であり、改善計画の見直しも行われていない。今後、具体的な改善策を計画的に見直す機会を確保し改善計画の見直しを行うことを期待する。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
施設長は、自らの思いや役割・責任を法人内の広報誌に掲載し表明している。職務分掌を作成し、自らの役割と責任を会議において周知している。施設長不在時の権限委任等を明確化している。		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
施設長は、年度初めの職員研修において順守すべく法令等を職員に示し、毎月の会議や研修会でも、人権研修やコンプライアンス研修などを行っている。車の止め方・運転の方法、新型コロナウイルス情報を発信などの情報を見つけては、職員に順守すべく取り組んでいる。		
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	<input type="checkbox"/>

	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握するために、自ら支援の現場に入り支援の様子を見たり支援がスムーズにいくよう具体的にサンプルを作ったりしながら助言も行っている。相談を受けた時は、支援がスムーズにいくよう話し合ったり、研修の機会を設ける等支援の質の向上に取り組んでいる。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設長は、業務の改善や実効性の向上に向け分析を行い、環境整備や人員配置、職員の働きやすさに向け、職員の気持ちを確認しながら取り組んでいる。職員は次に入ってくる職員が働きやすいようにと日々考え意識している。宿直専門の職員を採用したり、少しでも休暇をとれるよう業務改善に取り組んでいる。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	<input type="radio"/>
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	<input type="radio"/>

【コメント】

法人全体で人材確保と育成に関する方針は確立され、無資格の人でも応募できるようにし、施設内で育成していく方針を立てる等、効果的な採用活動は行われている。法人全体で人材が不足して求人を求めているほか、施設単独でも、ハローワークに求人を出し、人材確保に努めているがなかなか応募がない状況である。コロナ禍の中で学校訪問もできず、学生も施設実習に来る人もなく人材確保に困っている。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	<input type="radio"/>

把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。

【コメント】

人員規定が明確に定められるとともに、施設長は、自ら個人面談を行い職員の職務に対する貢献度等を評価している。「期待する職員像」が明確にされており、職員は自分の将来の姿を描くことができている。また自分の目標を明確にし、年度末には自己評価を行い次年度につなげている。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

職員の労務管理に対する責任体制を明確にするとともに就業状況を把握している。施設長は職員との個別面談の機会を設け、職員がいつでも相談できる体制を確立している。人員体制は万全とは言えないが、その分職員一人一人が、自分がやらなければとの意識をもって働いている。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりが目標をもって業務に携わることができるよう取り組んでいる。施設長は、1年に2回職員面接を行い、個人の目標達成度を評価するとともに達成できなかった時や次の目標設定に向けての助言を行っている。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】
 教育・研修・職員の質の向上のための研修計画が立てられており、実施に向けて取り組んでいる。今年度は新型コロナウイルスの関係で外部研修参加が予定通りいかない部分もあったが、内部での研修は実施できている。研修計画は、1年に1回評価され、見直しが行われている。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	<input type="checkbox"/>
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>

【コメント】
 職員が外部研修に参加できるよう情報の提供及び職員間での共有は図られるとともに、受講の機会は確保されている。今年度は、新型コロナウイルスの関係で研修が中止することが多くあり、その分職員の習熟度に合わせたテーマ別の法人内研修に参加するなどの配慮が行われている。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】
 実習の受け入れに対する基本姿勢を明文化したマニュアルが作成されている。実習受け入れ担当者は配置され、保育士が実習するためのプログラムは充実しているが、多職種の実習生の受け入れプログラムは準備されていない。また実習受け入れ担当職員の研修が実施されていない。今後は、多職種に応じたプログラムを整備されることを期待したい。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設の情報の公開は行われており、地域の区長さんや市の連絡所に出向いては常に情報を提供するようにしている。また、施設のパンフレットには理念や基本方針が掲げられ必要に応じて配布するようにしているが、毎月発行しているお便りには活動のみが掲載されている。今後は保護者や地域に向けて施設の日々の活動情報のみならず、施設運営の透明性を図る内容の記事の記載と、配布をしていくことが望まれる。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	c
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	

【コメント】

事務、経理等における責任を明確にし職員に周知している。また、法人の税理士による指導や経営改善は行われているが、内部監査や外部監査等が実施されていない。今後、公正かつ透明性の高い経営・運営のために、内部監査や外部監査を実施し検証していくことが望ましい。

4 地域との交流、地域貢献

(1)	地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
	(児童養護施設) <input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	○
	【コメント】	
	地域とののかかわりについて基本的な考え方を明記し、職員やボランティアが支援する体制が整っている。母体施設のくすのきのある地域では子供がいないため交流ができていないが、分園では友人が遊びに来る。くすのきでは、施設の前にある老人施設との交流があり、また、地域の人たちと一緒に餅つきをしたりボランティアさんがピザ窯をもってピザを焼きに来てくれる等の交流が行われている。	
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	○
	【コメント】	
	ボランティア受け入れに関する基本姿勢をマニュアル化している。また学校教育への協力についても明文化している。ボランティア受け入れマニュアルを基本にし、子供との交流を図る視点等を伝えるようにしている。	
(2)	関係機関との連携が確保されている。	
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a

<input type="checkbox"/>	当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	<input type="radio"/>

【コメント】

地域の関係機関や団体など社会資源を明示したリストがあり、職員間で共有している。児童相談所や学校とは連絡を密にしている。子供のアフターケアを行っている事業所である「わたちの家」や「すずらん」等関係施設で行う担当者会議に参加し情報交換と情報の共有を行っている。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<input type="checkbox"/>	施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	<input type="radio"/>

【コメント】

地域の町内会に入っていて、会議には参加している。餅つきやお祭り、奉仕活動などに積極的に参加し、地域との交流を図り、福祉ニーズや生活課題の把握に努めている。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<input type="checkbox"/>	把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設前に福祉センターがあるので、交流を密にし災害時などは福祉センターに地域の人と一緒に避難訓練を行う等の取り組みを行っているが、計画的に実施されていない。また、施設が持っている教育支援のノウハウや専門的な知識等を地域に還元する取り組みがない。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1)	子どもを尊重する姿勢が明示されている。	第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/>	理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

「大地にたく根を伸ばし、天に向かって大きな幹に、嵐に負けぬ人を慈しむ大きな、くすのきに育て」と掲げている理念を職員が大切に、理解のうえ支援の実施方法に反映するとともに、子供の尊重や基本的人権の配慮について研修し学習している。また、毎月行われる会議で状況の把握を行い、職員間で共有するよう取り組んでいる。

②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	

【コメント】

規定・マニュアルに基づいて、子供一人ひとりのプライバシーに配慮した養育・支援が行われている。またすべての部屋が個室になっている等環境的にも子供のプライバシーを守れるように配慮されている。プライバシー保護マニュアルが不十分であり、また保護者への説明も口頭説明になっている。今後プライバシー保護マニュアルを整備し、子供や保護者にも周知することが望まれる。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設で生活するためのルールや施設の理念基本方針、養育・支援の内容や施設の特徴を説明するための資料として、「くすのきで生活を始めるあなたへ」が作成され、それをを用いて丁寧な説明が行われている。見学希望やショートステイ等の受け入れも行っている。

②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【コメント】

支援内容が分かりやすいよう写真を活用するなど、工夫され、丁寧に説明することを心掛け、自己決定できるように取り組んでいるが、口頭説明・同意に留まっている。また意思決定が困難な子供や保護者に対して説明されているが、ルール化されていない。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	

【コメント】

措置変更や地域・家庭への移行については、当施設での状況を細かく伝えるようにしている。退所後に相談できるよう窓口を設け取り組んでいるが、養育・支援の継続に配慮した手順書や引継ぎ文書作成に不十分さが残る。また保護者に対して退所後の支援方法などを説明しているが、文書を渡すまでには至っていない。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

第三者
評価結果

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【コメント】

子供の満足に関する調査や子供への定期的な相談面接が行われ、職員が子供会に参加するなど、子供の満足度の向上ができるようにしている。また、その結果に基づき職員は具体的な改善策を考える等前向きに取り組んでいるが、子供は参画していない。今後、子供たちが自分の生活の満足度の改善と一緒に考えて取り組んでいくことが望まれる。

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【コメント】

苦情解決の仕組みについては、苦情解決体制が整備され、解決結果を必ず子供や保護者にフィードバックする体制ができています。子供からの意見や苦情に関しては、意見箱を設置し、意見や苦情が述べやすい環境が整備されています。

②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選ぶことをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】
 子供たちの相談には、個室を準備し相談しやすいスペースを作っている。子供たちが運営する「子供会」を設け、意見を述べやすいような環境を整備している。

③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【コメント】
 職員は子供たちが意見を述べやすいよう常に傾聴に努め、養育・支援の質の向上を目指し、子供の意見を積極的に把握するよう努めているが、対応方法などがマニュアル化されていない。どの職員が対応しても標準的な対応ができるよう、マニュアル化し必要に応じて見直すことが望ましい。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。	第三者 評価結果	
①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】
 安心・安全な養育・支援の実施を目標とするリスクマネジメント体制が構築され、安全管理部を中心に1年に1回定期的に評価・見直しを行ない、発生要因の分析や改善策、再発防止の検討などのうえ職員間で共有している。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直ししている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

感染症に対するマニュアル等が整備されて職員に周知されているとともに1年に1回見直しを行っている。新型コロナウイルスの発生状況を踏まえて特に感染症に対する研修は充実している。感染が発症した場合にも適切に対応できるよう職員間で対処方法を共有している。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○

【コメント】

災害時の防災計画を整備し、行政をはじめ自治会や消防等と連携しながら子供の安全に取り組んでいる。災害時は、近隣の福祉施設に避難するよう共同で避難訓練を実施している。備蓄も3日分の水と食料を確保し保管している。

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。

第三者
評価結果

①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	○

【コメント】

標準的な実施方法については、「養育（自立）のいとなみ」に文書化され、プライバシーの保護についても明示されている。標準的な実施方法によって実施されているかを確認するために1年4回チェックするような仕組みを作っている。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	○

【コメント】

自立支援計画作成は、PDCAサイクルに基づいて実施されており、職員で共有しながら養育支援の質の向上に向けて取り組んでいる。状態が変化した場合には、いつでも変更できるように職員一人ひとりが子供たちの日々の変化を観察している。そのうえで課題を明確にし次の支援につなげるようにしている。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○

<input type="checkbox"/>	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

自立支援計画の責任者は主任が担い、子供一人ひとりの個別的なニーズを踏まえた具体的な養育・支援の内容になっている。多職種参加により会議が行われ、支援困難なケースへの対応についても検討されている。アセスメントの様式が確立されておらず施設外の方のアセスメント参加が行われていないため、今後は確立を望む。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
<input type="checkbox"/>	自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

自立支援計画の見直しは、職員会議で検討され半年に1回見直しを行っている。緊急に自立支援計画を変更する場合は、検討会議を開催する等、手順を定めて実施し養育・支援の質の向上を目指している。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<input type="checkbox"/>	子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

子供の身体状況は、月1回体重や身長を計測のうえ、児童観察表にて記録されている。個々の職員において、記録に差異が生じないように回覧し職員間で共有するようにしている。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<input type="checkbox"/>	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/>	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	記録管理の責任者が設置されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
個人情報保護に関する規定を設け、個人情報の漏洩に対する対策が講じられている。記録管理の責任者は施設長が担当し、職員に対する研修が行われている。職員は個人情報保護規定を理解し、順守するよう取り組んでいて、子供たちにも生活ノートを用いて口頭で説明をしているが、保護者に対しての説明がされていない。		

内容評価基準（25項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護		第三者 評価結果
①	A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	c
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
権利ノート・意見箱を活用し、権利侵害の防止及び早期発見に努めている。また、子どもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。施設全体で人権研修に取り組み権利擁護についての理解は浸透しているが、施設においての規程等が確認できなかった。今後は、規程・マニュアルの整備を望む。		
(2) 権利について理解を促す取組		
①	A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 権利についての理解を深めるよう、年齢に配慮した説明を工夫し、日常生活を通して支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの年齢や状態に応じて、権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料等を使用して、生活の中で保障されるさまざまな権利についてわかりやすく説明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員間で子どもの権利に関する学習機会を持っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、自分を傷つけたりおとしめたりしてはならないこと、また、他人を傷つけたり脅かしたりしてはならないことが、日々の養育の中で伝わっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 年下の子どもや障がいのある子どもなど、弱い立場にある子どもに対して、思いやりの心をもって接するように支援している。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
権利ノート等を活用し、子どもたちには個々に具体的な例を挙げてわかりやすく説明を行っている。また、職員間でも権利に関して研修する機会を設け、研鑽に努められている。		
(3) 生き立ちを振り返る取組		
①	A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生き立ちを振り返る取組を行っている。	a

<input type="checkbox"/>	子どもの発達状況等に応じて、適切に事実を伝えようと努めている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	事実を伝える場合には、個別の事情に応じて慎重に対応している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	事実を伝えた後、子どもの変容などを十分把握するとともに、適切なフォローを行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	子ども一人ひとりに成長の記録(アルバム等)が用意され、空白が生じないように写真等の記録の収集・整理に努めている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、子どもの生い立ちの整理に繋がっている。	<input type="radio"/>

【コメント】

職員会議等において、子どもの発達状況等に応じ適切に事実を伝えることや、その内容・伝え方等について共有が図られている。子ども一人ひとりに成長の記録が用意され、写真等の記録の収集・整理に努めている。成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、子どもの生い立ちの整理に繋がっている。

(4) 被措置児童等虐待の防止等

①	A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
<input type="checkbox"/>	「体罰や不適切なかかわり(暴力、人格的辱め、心理的虐待など)があつた場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその原因や体罰等の内容・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつけられている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	不適切なかかわりの防止について、会議等で具体的な例を示すなどして職員に徹底し、行われていないことを確認している。また、不適切なかかわりを発見した場合は、記録し、必ず施設長に報告することが明文化されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けており、不適切なかかわりの具体的な例を示して、子どもに周知し、子ども自らが訴えることができるようにしている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたときに、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができており、被措置児童等虐待の届出・通告があつた場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料を子ども等に配布、説明している。また、掲示物を掲示するなどして、子どもが自ら訴えることができるようにしている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設長が職員・子ども双方にその原因や体罰等の内容・程度等、事実確認をすることや、就業規則等の規程に基づき厳正に処分を行う仕組みがつけられている。子どもに周知は図られているが、掲示物等が少ない状況のため、今後は、わかりやすい資料の配布や廊下や食堂等への掲示を行い、子ども自ら訴えることが出来やすい環境整備が望まれる。

(5) 子どもの意向や主体性への配慮

①	A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	a
<input type="checkbox"/>	快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくっているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	余暇の過ごし方について、子ども自身が自由に選択し、一人ひとりの趣味や興味に合った活動が行えるように支援している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	子どもの状況に応じて、金銭の管理や計画的な使い方などを学び、金銭感覚や経済観念が身につくよう支援している。	<input type="radio"/>

【コメント】

快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、問題や課題について考える機会を設けている。一人ひとりの趣味や興味に合った活動が行えるようできる限り支援している。また、施設で用いられているおやつ券や買い物等を通じて小遣いノートをつけ、金銭感覚や経済観念が身につくよう支援している。

(6) 支援の継続性とアフターケア

①	A6 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
---	---------------------------------------------------	---

	<input type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性に関して、施設全体でその重要性を理解し、入所や退所に伴う不安を理解し受け止めるとともに、子どもの不安を軽減できるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 入所した時、温かく迎えることができるよう、受け入れの準備をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもがそれまでの生活で築いてきた人間関係などを、可能な限り持続できるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家庭復帰や施設変更にあたり、子どもが継続して安定した生活を送ることができるよう、支援を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

入所時には、職員が温かく迎え入れ、入所のしおりにて安心した生活を送れることを伝えている。子どもが困ったことや不安なことは担当職員が個別に相談にのるなど不安を軽減するよう配慮されている。退所後の児童のアフターケアに努め、出来る限りの支援が図られている。

②	A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 行政機関や福祉機関、あるいは民間団体等と連携を図りながらアフターケアを行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 本人からの連絡だけでなく、就労先、アパート等の居住先からの連絡、警察等からのトラブル発生の連絡などにも対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 退所者が集まれる機会や、退所者と職員・入所している子どもとが交流する機会を設けている。	<input type="radio"/>

【コメント】

退所後の安定した生活に向けて、一人暮らし体験や家探し等を実施するとともに、勤務される会社には挨拶を行うなど積極的に支援を行っている。また、退所した子どもの相談にも親身になって対応し、きめ細やかなアフターケアを実施されている。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	b
	<input type="checkbox"/> 職員はさまざまな知見や経験によって培われた感性に基づいて子どもを理解し、受容的・支持的な態度で寄り添い、子どもと共に課題に向き合っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの生育歴を知り、そのときどきで子どもの心に何が起こっていたのかを理解している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが表出する感情や言動のみを取り上げるのではなく、被虐待体験や分離体験などに伴う苦痛・いかり、見捨てられ感も含めて、子どもの心に何が起こっているのかを理解しようとしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもに行動上の問題等があった場合、単にその行為を取り上げて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもたちに職員への信頼が芽生えていることが、利用者アンケートを通じて感じられる。	<input type="radio"/>

【コメント】

子ども達の情報については、職員間で共有が図れており、背景を理解したうえで、出来るだけ同じ視点に立った対応を心がけるなど、子どもに寄り添った支援がなされている。職員と子どもたちとの信頼関係が芽生えていることは見て取れたが、今後はアンケートを実施するなど、より子どもの意見を汲み取ることを期待する。

②	A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの基本的欲求を満たすよう努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 基本的欲求の充足において、子どもと職員との関係性を重視している。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/>	生活の決まりは、秩序ある生活の範囲内で子どもの意思を尊重した柔軟なものとなっている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	子どもにとって身近な職員が一定の裁量権を有し、個々の子どもの状況に応じて柔軟に対応できる体制となっている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	基本的な信頼関係を構築するために職員と子どもが個別的に触れ合う時間を確保している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	夜目覚めたとき大人の存在が感じられるなど安心感に配慮している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

子どもたちとは、個々に話し合う時間を設けて悩み・欲求・不満等何でも相談してもらえる関係づくりがなされており、相談した内容は全職員で共有が図れている。現在、子どもたちは、個室にて全員一人で就寝しているが、施設に入所間もない子については、職員が添い寝をするなど、一人ひとりが安心して生活を営めるよう配慮に努めている。

③	A10 子どもの力を信じて見守るとい姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	b
<input type="checkbox"/>	子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うように見守ったり、働きかけたりしている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	職員は必要以上の指示や制止をしていない。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	つまずきや失敗の体験を大切にし、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	朝・夕の忙しい時間帯にも、職員が子どもを十分に掌握、援助できるように、職員の配置に配慮している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

日常生活において、子どもの自主性・自立性・協調性等を育むため、子どもの力を信じ見守る姿勢を大切にするとともに問題等が起こった際は共に考え解決していくよう支援されている。施設及び職員配置の都合上、忙しい時間帯にはどうしても子どもへの配慮が手薄になるため、今後は職員確保が望まれる。

④	A11 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
<input type="checkbox"/>	施設内での養育が、年齢や発達の状況、課題等に応じたプログラムの下、実施されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	日常生活の中で、子どもたちの学びや遊びに関するニーズを把握し、可能な限りニーズに応えている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	幼児から高校生まで、年齢段階に応じた図書などの文化財、玩具・遊具が用意、利用されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	学校や地域にある子どもたちの学びや遊びに関する情報を把握し、必要な情報交換ができています。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	子どものニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	幼稚園等に通わせている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	子どもの学びや遊びを保障するための、資源(専門機関やボランティア等)が十分に活用されている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

子ども達との対話や意見箱に寄せられる要望等を常に検討し、子どもの状況に応じた学びや遊びの場の提供に努めている。また、月1回子どもたちの通う学校の先生と施設長が情報交換を図り、子どもたちの心身についての状況把握に努めるなど、手厚い支援が実施されている。

⑤	A12 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
<input type="checkbox"/>	子どもが社会生活をいとなむ上での必要な知識や技術を日常的に伝え、子どもがそれらを習得できるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	子どもと職員が十分な話し合いのもとに「しなければならないこと」と「してはならないこと」を理解し、生活するうえでの規範等守るべき決まりや約束を一緒に考え作っていくようにしている。	<input type="checkbox"/>

	<input type="checkbox"/> 地域社会への積極的参加を図る等、社会性を習得する機会を設けている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達状況に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理できるよう支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達状況に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくよう支援している。	<input type="radio"/>

【コメント】

子どもの発達状況に応じて、調理実習や買い物等様々な経験を積みながら生活技術・習慣が身につくよう支援が実施されている。また、積極的に地区の子ども会に参加するなど社会性(挨拶・協調性・マナー等)を習得する支援もされている。昨今の状況を鑑み、インターネットやSNSについては、職員が年間を通して研修を受講し研鑽に努めるとともに、子ども達に正しい知識が身につくよう指導・伝達している。

(2) 食生活

①	A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 楽しい雰囲気ですぐに食事ができるように、年齢や個人差に応じて食事時間に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事時間が他の子どもと違う場合にも、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気、常に清潔が保たれたもとで、職員と子ども、そして子ども同士のコミュニケーションの場として機能するよう工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に残食の状況や子どもの嗜好を把握するための取組がなされ、それが献立に反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつをつくる機会を設けている。	<input type="radio"/>

【コメント】

人間関係等その生活集団の雰囲気が反映されることを踏まえ、食事の時間はコミュニケーションの場として機能し和やかな雰囲気となっている。子どもの年齢幅も大きく、食物アレルギーを持つ子どもには特別な配慮がなされている。残食の状況を把握するとともに、子どもの嗜好を調査し、栄養士と連携を図り献立に反映させるよう努力されている。病気の時等、健康状態に配慮した食事を含め、子ども一人ひとりの状況に応じた配慮がなされている。

(3) 衣生活

①	A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 汚れた時にすぐに着替えることができ、またTPOに合わせた服装ができるよう、十分な衣類が確保されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の管理を子どもの見えるところで行うよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達状況や好みに合わせて子ども自身が衣服を選択し購入できる機会を設けている。	<input type="radio"/>

【コメント】

TPOに合わせた服装ができるよう的確な助言を行うとともに、買い物支援を実施している。また、服装やおしゃれ等に興味がない子どもについては、年齢に応じたファッション誌等を見せて、興味を引き出す工夫をしている。基本的に、職員が洗濯・アイロンかけ・補修等はしているが年齢が大きい子どもは自分で行う場合もある。

(4) 住生活

①	A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって居心地の良い安心安全な環境とは何かを考え、積極的に環境整備を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 小規模グループでの養育を行う環境づくりに配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 中学生以上は個室が望ましいが、相部屋であっても個人の空間を確保している。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/>	□身につけるもの、日常的に使用するもの、日用品などは、個人所有としている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□食堂やリビングなどの共有スペースは常にきれいにし、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□設備や家具什器について、汚れたり壊れたりしていない。破損個所については必要な修繕を迅速に行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□発達や子どもの状況に応じて日常的な清掃や大掃除を行い、居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにしている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

子どもの居室については、全員個室となっており、各々が居心地のよい空間を確保している。掃除当番制を導入し、子どもが主として取組み、職員は補助的な立場で行い、子どもたちに整理整頓の大切さや掃除の習慣が身につくよう積極的に支援している。また、日用品については、それぞれが好みの物を所有できている。

(5) 健康と安全

①	A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a
<input type="checkbox"/>	□子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握し、定期的に子どもの健康管理に努めている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察し、対応している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

同法人内に医療機関があるため、子ども達の健康管理については、迅速に対応が図られる環境が整えられている。服薬が必要な子どもについては、職員が年齢に応じた管理方法を実施している。施設内には健康安全部が設けられ、職員は、コロナウイルス等についての知識や予防策等を学び、それを業務に活かすよう努めている。

(6) 性に関する教育

①	A17 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a
<input type="checkbox"/>	□他者の性を尊重し、年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□性についての正しい知識、関心が持てるよう、年齢、発達の状況に応じたカリキュラムを用意し、活用している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□必要に応じて外部講師を招く等して、性をめぐる諸課題への支援や、学習会などを職員や子どもに対して実施している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

年長の子どもから年少の子どもへの性的な加害・被害関係が起こることのないよう、異性間のみならず、同性間においても日常生活場面での十分な注意が行われている。施設内で性教育プランを作成し、子どもの発達段階に応じた指導を実施している。過去には、外部（児童相談所）より、講師を招き学習会を実施している。

(7) 行動上の問題及び問題状況への対応

①	A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a
<input type="checkbox"/>	□施設が、行動上の問題があった子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。また、周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□施設の日々の生活が持続的に安定したものとなっていることは、子どもの行動上の問題の軽減に寄与している。また子どもの行動上の問題が起きた時も、その都度、問題の要因を十分に分析して、施設全体で立て直そうと努力している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□不適切な行動を問題とし、人格を否定しないことに配慮をしている。職員の研修等を行い、行動上の問題に対して適切な援助技術を習得できるようにしている。暴力を受けた職員へ無力感等への配慮も行っている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	□くり返し児童相談所、専門医療機関、警察等と協議を重ね、事態改善の方策を見つけ出そうと努力している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

行動上の問題を生じやすい子どもの特性等については、職員間で常に情報共有を図り、時には施設のみならず他機関とも連携して対応している。問題を起こした子どもの人格を否定しないよう人権研修を実施し、理解を深める努力がなされている。

②	A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 課題のある子ども、入所間もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 大人(職員)相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっている。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合には、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設内での子ども同士の暴力・いじめ等が発生しないよう、日々声掛けや観察を行い些細な変化も見逃さないよう配慮している。また、施設内に生活支援部が設置されており、子どもの関わりや支援について職員間で協議のうえ研鑽を行っている。問題が起きた際は、児童相談所へ報告されている。

(8) 心理的ケア

①	A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアを必要とする子どもについては、自立支援計画に基づき心理支援プログラムが策定されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における職員間の連携が強化されるなど、心理的支援が施設全体の中で有効に組み込まれている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要な子どもへの対応に関する職員研修やスーパービジョンが行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員が必要に応じて外部の心理の専門家からスーパービジョンを受ける体制が整っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 心理療法を行うことができる有資格者を配置し、心理療法を実施するスペースを確保している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携し、対象となる子どもの保護者等へ定期的な助言・援助を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

外部の心理士に定期的に訪問いただき、心理的ケアを必要とする子どもや保護者への助言・援助を図っている。今後心理的ケアは、より重要視されることが予想されるため、施設にて心理療法を行える有資格者を配置することが望まれる。

(9) 学習・進学支援、進路支援等

①	A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるようにその時の本人の希望に沿えるような個別スペースや学習室を用意するなど、学習のための環境づくりの配慮をし、学習習慣が身につくよう援助している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学校教師と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。一人ひとりの必要に応じて、学習ボランティアや家庭教師、地域の学習塾等を活用する機会を提供している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学力が低い子どもについては、基礎学力の回復に努める支援をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出について把握し、子どもに応じた支援をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 障害のある子どものために、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校等への通学を支援している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設では、学習室が設置され、担当職員が宿題や忘れ物がないかフォローしている。施設長は、元教員の経験を活かし学習支援が有効にできている。施設の立地上、塾に通うことは難しいため、塾の講師が施設まで勉強を教えに来てくれる体制が整えられている。

②	A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 進路について自己決定ができるよう進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供し、子どもと十分に話し合っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、本人、親、学校、児童相談所の意見を十分聞き、自立支援計画に載せ、各機関と連携し支援をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 就学者自立生活支援事業、社会的養護自立支援事業、身元保証入確保対策事業、奨学金など、進路決定のための経済的な援助の仕組みについての情報提供をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応する体制ができており、対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 学校を中退したり、不登校となった子どもへの支援のなかで、就労(支援)しながら施設入所を継続することをもって社会経験を積めるよう支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 高校卒業後も進学を希望する子どものために、資金面、生活面、精神的面など、進学の実現に向けて支援、情報提供をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。	<input type="radio"/>

【コメント】

進路については、本人及び学校とも相談を重ね、本人にとって最善な選択になるよう配慮している。進学の際に係る費用面においても、お金の工面の方法や奨学金の情報を提供するなど、できる限りの支援に努めるとともに、進路決定後も施設の家庭支援相談員が窓口となり、本人はもとより勤め先や学校とも連絡をとりフォローに努めている。

③	A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、社会の仕組みやルールなど、自分の行為に対する責任について話あっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。	
	<input type="checkbox"/> アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。	<input type="radio"/>

【コメント】

本人の希望によりアルバイトを行うことを推奨している。その体験をもとに、社会のルールや自己責任、金銭管理等について学び将来の力になるよう支援している。今後は、施設として、多くの実習先や体験先の開拓を行い、子どもが、より一層社会生活を学ぶ機会を作られることを期待する。

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

①	A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるようにしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅などを取り入れ子どもと家族の継続的な関係づくりに積極的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 外出、一時帰宅後子どもの様子を注意深く観察し、不適切なかがわりの発見に努め、さらに保護者等による「不当に妨げる行為」に対して適切な対応を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもに関する学校、地域、施設等の行事予定や情報を家族に随時知らせ、必要に応じて保護者等にも行事への参加や協力を得ている。	<input type="radio"/>

【コメント】

家族との関係づくりについては、面会・外出・一時帰宅の様子を見ながら、他機関と連携を図りながら慎重かつ丁寧に対応し、第一に本人の意思を尊重している。子どもに関係する行事等については、保護者に知らせるとともに、保護者が出席できない場合は担当職員が対応するなど配慮している。

(11) 親子関係の再構築支援

①	A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員を中心に、ケースの見立て、現実的な取組を可能とする改善ポイントの絞り込みを行うなど、再構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅、あるいは家庭訪問、施設における親子生活訓練室の活用や家族療法事業の実施などを通して、家族との関係の継続、修復、養育力の向上などに取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 児童相談所等の関係機関と密接に協議し連携を図って家族支援の取組を行っている。	○

【コメント】

本人の意向、家族の意向双方を把握しながら、家庭再統合を念頭に置き、施設長及び担当職員を中心として、児童相談所と密接に連携を図りながら丁寧な支援に取り組まれている。施設の別宅に親子生活訓練室を用意し、活用している。